

E.R.F.C.

Newsletter 2004 vol.3

清里ミーティング特集号

おかげさまでもちまして第15回ERF C清里ミーティングは無事終了いたしました。そんなわけで・・・

【ミーティング報告】

裏話ながら実は今回、会場使用の都合から前日の会場準備ができないと言う前代未聞の課題を抱えていた今年の清里ミーティング。さらに直前になって史上最大の問題が持ち上がり・・・。

今年もこの時期がやって来ました。ERF C清里ミーティング。

これまで「恒例の」なんてお決まりの言葉を繰り返してはきましたが、気が付けば今年でもう15回目。今年もいつもの通り、清泉寮で。いつもの通り、100台限定で。いつもの通り、お弁当の手配も済ませ、...

でも一つだけ違っていたのは、マツダからゲストにお越しただけでないことが開催二日前に判明したこと!!吉岡さん、貴島さんをはじめとしたロードスターに関連する皆さんは次期ロードスター開発の追い込み時期(?)とあって、御都合がつかないとのこと。

さあ、どうなる!清里ミーティング!!

さて、そんなスタッフの焦りとは微塵も関係なく、当日は朝から目一杯の晴天!これはやっぱりスタッフの日頃の行いの良さが、、って、じゃあ去年の雨は何?!(^_^;)

ともあれ今年も芝生に並ぶ数十台のロードスター。晴れた日の光の下ではその見え方もひと際です。ただ例年なら前日から準備しているメインホールは、前夜別のイベントで使用されていた都合上、今年は当日朝からの設営。準備が間に合わないかも?と、少しだけ受付時間を繰り下げたものの、気が付けばほぼ例年の時間には準備完了してました。清里スタッフ恐るべし。(自画自賛?)



そんなわけで始まった清里ミーティング!今年の講演のゲストは、、直前に急遽お願いしてRCO Jの水落さんにお話をいただくことに相成りました。MAZDA



からM2を経てきた水落さんの話、これまでもいつもいろんな形でお会いしていましたが、考えてみれば清里でこんなにじっくりお話いただいたのは初めてでしたね。とにかく急なお願いでしたので午前の部の前半でお話いただいて、後半はまた他の展開で、なんて風に考えていましたが、どうしてどうして。ロードスターとの関わりからM2時代の話、そして知らないことをいいことに(?)次期ロードスターについてまで!

特に最後の最後にはじまった、次期ロードスターがらみの話。お馴染みの業界関係各位(^_^;)も巻き込んであーでもないこーでもない、と盛り上がったものの、誰だって見てないものは想像の範囲でしか語れないし、そもそも見ていたってこの時期に言うわけにはいかない!そんなわけで、自動車雑誌業界の大人の事情とか(大人なんてキライだああ!(笑))いろいろな話を聞きながらまた会場のみんで来春に向けて想像を膨らませていったのでした。



結局、急なお願いだったにもかかわらず、水落さんの話は尽きることもなく、午前中一杯使っても足りないほどの盛り

上がりを見せたのでした。

(水落さん、突然のお願いにもかかわらず快諾いただきまして本当にありがとうございました)

さて、外に目を移せば風花の舞った一昨年、雨の降った去年と比べて格段に暖かだった今年は駐車場や脇の芝生で過ごすにはうってつけの環境！お昼はお馴染み清里弁当。今年はいかがでしたか？

午後はそれぞれのんびりとみんなの車を見て周り、スワミで掘り出し物を探してみたり、はたまた自分の車を撮影したりと、例によってまったりとした時間を過ごしました。スワミブースの横にはRCOJの物販ブースとデルタツーリングのシート体験ブースが設けられ常に人が集まってました。特にデルタのブースには最新型のロードスタークーペと元年式NAをデモカーとして置かれており、皆さん交互に座り比べていました。

会場は観光地・清里の超有名スポットと言うこともあり、多くの観光客がバスや車で訪れます。少なからぬ人々が駐車場に並んだロードスターに目を引かれていたようです。そりゃ、毎年見ている私たちでもこういう天気の下では見て嬉しくなるぐらいですから、見慣れない人からすればさぞや気になる光景だったことでしょうね。

さて、会場に戻って閉会前のおたのしみ。まずはお弁当で当りが出た皆さんへのプレゼント。はじめこそちょっとしたシャレで始めた企画でしたが、すっかり定着してしまいましたね。ちなみに今年の当りマークは昨年のなんコン一位だったジャンケン大王人形でした。

続いてはなんコンことなんでもコンテストの表彰。今年の1位はというと・・・(以下、なんコン報告に続く)

そして満を持しての登場はジャンケン大王！広島ジャンケン大魔王とともに会場を興奮の坩堝に陥れていったのでした。。(^_^;)

楽しい時間は早く過ぎるもので、あっという間に閉会時間。「ありがとうございました！お気をつけて！」と、参加者の皆さんを駐車場から一杯見送り、今年も清里ミーティングは終了したのでした。

(第15回E.R.F.C.清里ミーティング実行委員長:豆蔵)

そんなわけで今回は残念ながらお越しいただけませんでしたでしたが、マツダの吉岡さんと貴島さんから書面でご挨拶を頂戴しました。会場では渋谷怪鳥が代読しましたが、ここにあらためて紹介させていただきます。

ユーノスロードスターファンクラブの皆様

以前お邪魔させていただきました、マツダの吉岡です。今回も、たくさんの方のロードスターが集合している様子が目に浮かびます。ロードスターを愛してくださる方々に感謝するとともに、愛されるスポーツカーを生み出す機会を得たことに、感謝しています。貴島さんも私も、本年は都合がどうしてもつかず、参加できません。本当にもうしわけありません。ユーノスロードスターファンクラブの皆様と、その活動はMazdaにとって大切な宝物だと常々思っています。これからも、マツダとマツダのスポーツカーに対するご声援を、よろしくお願いします。

今回は参加できず、大変もうしわけありません。メンバーの方々にはMazdaから参加できないことに対しくれぐれも宜しくお伝えください。

吉岡史郎
マツダ株式会社
プログラム開発推進本部
第2プログラム開発推進室
統括主査

親愛なるユーノスロードスターファンクラブ会員の皆様

マツダの貴島です。いつもお世話になっております。本日はイベントのご成功、おめでとうございます。今回の清里ミーティングにご招待いただき、誠に有難うございました。本年は諸般の理由で参加できず、皆さんにお会いできないのが大変残念です。諸般の理由といっても、皆様もうご存知ですね。私は今、次期ロードスターの開発に専念せねばならず、せっかくお招きいただきました本日のイベントに参加できないのです。ご招待いただいたのに、本当に申し訳ありません。初代、2代と続く、人馬一体のスピリットを継承する、車になりますから、期待してください。

来年、皆様とお目にかかれる日を楽しみにしております。

貴島孝雄
プログラム開発推進本部
第2プログラム開発推進室
主査

また、当日はモータージャーナリストの岡崎五朗さんからのメッセージも紹介させていただきました。

さて、ここからはスタッフの手記です。イベントの雰囲気を出して、もしくは感じてもらえればこれ幸い。

【受付より愛を込めて?!】 ~義援金の御報告を添えて~

受付担当のひとり、つのやまです。今年もたくさんご参加いただきましてありがとうございました。毎回何かとばたばたしがちな受付ですが、今回は皆様のおかげでスムーズに作業を行うことができました。ご協力感謝です!

清里ミーティングの受付といえば、参加者の方々もわたしたちも寒さに震えながら・・・というのが定番だったのですが、今回はミーティング史上最高のぽかぽか陽気!(膝掛けがいらないうんて!)皆さんの表情も、心なしかほぐれていたのが印象的でした。願わくば次回もこうでありますように・・・でもホントは、寒い清里も、空が澄んでなかなか素敵なんですけどね。

(受付担当:つのやまけーこ)

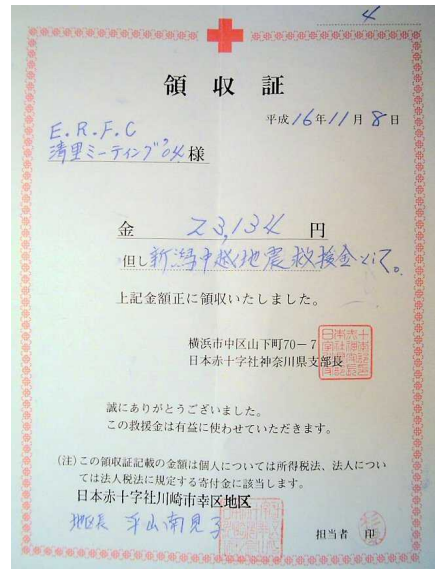
受付担当その2(?) たかはし(ち)です。毎回、受付で皆様から参加費をいただいている者です。そして、今年は、新潟中越地震への寄付のお声がけをさせていただきました。当日の最後にご報告したとおり、皆様から多数のご寄付をいただき、本当にありがとうございました。正直、これほどまでの金額が集まるとは思ってもおりませんでした。お札を入れてくださる方も多く、スタッフの一人は、受付が一段楽した後に募金箱に小銭を入れたときに「チャリンという音がしない」と半分ショックを受けていました。私も募金を呼びかけて、あまり集まらないのも体裁が悪いかなぁ・・・どうせどこかで募金をするなら清里ミーティングでなどと思っていました。寄付は、その人の気持ちなので金額の大小も体裁などの見栄など関係ないんですね。募金のお声がけや集計をして、改めて自分自身を反省しました。

今回の寄付は、ERFC 始まって以来の試みで行うかどうかを含めてスタッフの中で議論しました。そもそも、

今年は台風なども多く災害は新潟中越地震だけではありません。それなのに、新潟中越地震への寄付だけでいいのか?とか、集めたお金をどのように処理し、皆様にお金の行き先が分かるようになるかなどが問題となりました。お金の処理については、領収書により皆様に納得いただける形でご報告ができそうであると判明しましたので、何もしいよりは、何かを始める・行動するほうが良いであろうというスタッフ間の了解により、今回の寄付を呼びかけさせていただきました。

お預かりしたお金は、ミーティング後、日本赤十字を通じて新潟中越地震へ寄付させていただきました。皆様のご協力、本当に感謝いたします。また、未筆ながら、すべての災害に被災された方の一日も早い復帰をお祈り申し上げます。

(受付担当:たかはし(ち))



皆様からお預かりした寄付金「23134円」は日本赤十字社を通じて新潟中越地震災害義援金として寄付させていただきました。

【なんコン 参加することに意義がある!なんコンはだから楽しい~ \ (^o^) /】

例年になく暖かな清里ミーティングとなりました。皆様もこんな季節に珍しいことだと感じられたのではないのでしょうか。

さて大波小波のある「なんコン」ですが、今年は「当たり年」?なのか、全部で11点もの作品が集まりました。その作品も小さなモノから大きなモノまでと、バラエティーに富んだものとなり例年になく盛況ぶりとなりました。毎年このくらいの参加者がいるとコンテストの飾り台も賑わって会場も華やかになるのですがねえ(笑)。

そんな今年の「なんコン」ですが、結果の方は大方の参加者の予想通りの結果となりました...ということで上位3位の作品紹介です。

まず3位は、昨年見事なアイデアで優勝をさらっていった東京から参加した松浦友哉くん。今年は「大魔王?つかまえちゃった」というタイトルで我らが「じゃんけん大王」が会長である「大魔王」をしっかりと握りしめたイラストをTシャツにして作ってくれました。松浦君は昨年「大王」のフィギュアを作り会場か

らダントツの支持を受けましたが、今年は趣向を変えての出品になりました。あのコンセプトを継承しつつ新しいことに挑戦して、表現していこうというその姿勢と工夫には頭が下がります。ちょっとインパクトが弱かったことが3位となった原因かもしれませんね。ここまでくれば、もう来年も期待できます。



2位に入ったのは、「ユーノスロードスターRCドア開きバージョン」を出品してくれた、静岡から参加の池田勝哉さん。ご存知ラジコンのNAを作ったの参加ですが、もちろん「なんコン」に出してくる以上、ただのラジコンではありませんでした(笑)。プロポ(ラジコンを動かすための装置)を使って、左右両方のドアを開閉可能にして持ってきてくれました。

ポリカーボネド製という衝撃を吸収するために柔らかな素材で作られているボディを切るのは、強度低下と言う面でかなり不安になるのですが、そこは巧



みな改造でドアもびったりはまるという、見事な工作で仕上げられており、参加者の目をひいていました。やはり何か仕掛けのある作品はこういう時に強みを発揮します。親子で参加の息子にはかなり受けていたようでした。うーん、ギミックありはひとつ得をしますね。

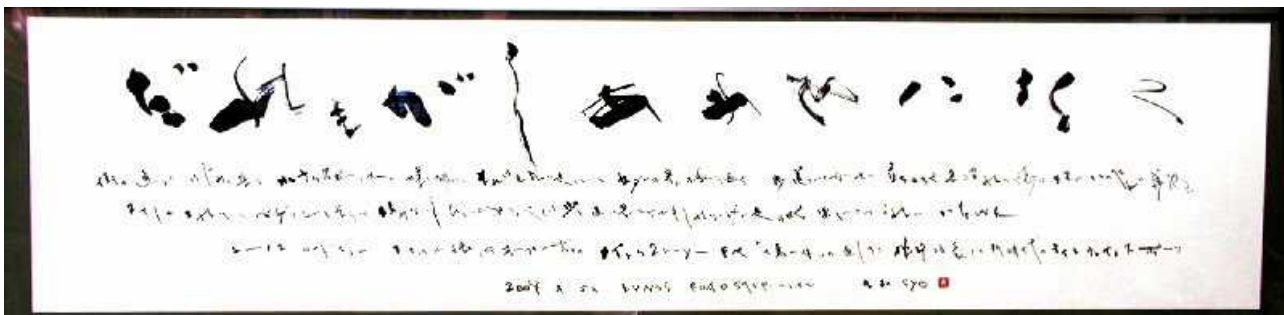
さて、最初にも書きましたが、今年の「なんコン」の第一位は、もう参加者の大方の予想通りの作品が獲得しました。皆さんも会場に入られた時、何気に左の「なんコン」飾り台に目を向けると、巨大な額縁が目に入ったことと思います。そこに書かれた達筆な筆遣いの字は見た人の注目を引くのに十分だったのではないのでしょうか。

その第一位は「だれもがしあわせになる」という題名で、NAのカatalogに書かれたすばらしい一文を書道で表現してくれた、神奈川県から参加の青木友和さ

んとなりました。この作品はもう、見ただけで圧倒され、印象に残るものだったのではないのでしょうか。2メートル近くあるその額縁は、搬入だけでもかなり大変だったのですが、飾ってみれば、書道で表現されたロードスターへの情熱をまた、こういう形で表現出来るのかと思知らされてくれた作品として、見るものの心に何か訴える力を秘めていたのだと思います。そうした点が参加者にも十分に伝わり、見事一位を獲得することが出来たのではないのでしょうか。

昨年から、こうした今までとは違う表現素材を使った参加が上位を獲得する傾向が見えてきました。模型系の参加でも、工作自体だけではなくもう一つギミックがあるものが参加者の心をつかむようです。それだけに写真など2次元で表現されたものはと、インパクトが弱かったかなあ~とも思ってしまうのですが、そこはまだ開拓されていない表現の仕方があると思います。今度はそういう部分をどう、独自に工夫してロードスターへの情熱を込めて表現していくのか？まだまだいろいろなかたちで「なんコン」への参加方法はありそうです。来年は(?)また、参加者とスタッフを「あ！」っと驚かせる作品が沢山集まること期待しています。

(なんコン担当:ふじいおわりや)



【スワップミート報告】 ~欲しいと思った時が買い時!~

激しい争奪戦が繰り広げられた昨年とはうって変わり、お天気同様、おだやかでした。

100円のEUNOS純正アルミホイールセット、新品のタイヤ、ETC、なかにはタダのものなど、数多く出品されました。

昨年の人気商品の純正エアロカバーは今回の方が程度がよかったのに、なぜか売れ残り、他のスタッフからは高すぎると言われた会長のリップスポイラーは「ほしい人にとっては安い。」との本人の思惑通り、あっさり売れました。

つまり、掘り出し物であるか否かは、それをほしいと思っている人次第。

来年もみなさんの出品をお待ちしております。



(スワップミート担当:片貝)

【お弁当。心は既に来年へ...】

お弁当係、さっちゃんです。今年はお天気も上々で景色もよく「絶好のミーティングびより」になりましたね。久しぶりに子連れで参加しました。缶入りのお茶を配っていたのが息子の虎太郎です!生まれてこの方ずっと電車好きだった彼が最近ロードスターに目覚めて段々と車好きになって行くのが面白く、清里をとっても楽しみにしていました。予想を裏切らず「ほんと

うにたのしかった!」という言葉聞いて、ほんわか暖かい気持ちになったのでした。

さてさて、本題。お弁当のお味はい



かがでたでしょうか？と問いかけておいてなんですが、会場では「今年ちょっとイマイチかな」「おかずが寂しいなあ」なんて声もお聞きしていて「確かにちょっと、だなあ」と思って反省しております。来年は「うん、おいしい！」の音が聞けるようにしたいな、

と思ってます。

願わくばばかばか太陽の下でロードスターに囲まれて来年も一緒にお弁当を食べましょう！

(お弁当担当: さっちゃん)

【看板一新！】 ~してたって、気が付いてました？~



清泉寮に向かう長い坂で最初に目にするミーティングの目印、いかがだったでしょうか？作れる範囲で成るべく大きくて印象の強いものを

と思い作成いたしました。メインホールや駐車場の看板は、観光で来ている方にも不快感を持たれないよう、且つミーティング会場である事をアピールできるようなシンプルで説得力のある図案を目指して作ってみま

した。

それから名札ですが、初めて今のスタイルで作ったのが第5回のおきで、それ以来作り続けて10年あまり、毎度代わりばえのしない出来具合ですが、簡単に使えるデザインツールや出力ショップの出現により作業性は格段に進歩してきています。はじめはインスタントレタリングで版下を手貼りしてプリントゴッコで摺っていたのが、今やPCでらくらく編集(ちなみに今回はワード図で作成しました)あとは、私の「創造力」を向上させる様、来年に向けて精進したいと思います。

(看板・名札担当: パパ・ヒラグチ)

【駐車場係はいつもたいへん・・・に楽しい?!】

ホールイベントにタッチできず外に常駐で大変でもあるけど、実は参加者の知らない楽しみもある駐車場係。実は現実行委員長も送り出しの気持ちよさにハマってスタッフ入りしたんだっけです。

そんな駐車場係、それぞれの眩きです。

昨年のことを思うと嘘のように暖かかった今年の駐車場、マイカーや観光バスでやってくる一般のお客さんも多くて、ろどすが並んでいる駐車場を興味ありそななそな様子で眺めている人が数多く見受けられました。まあ大半のひとはソフトクリーム目当てにジャージーハットに直行するんですが、



イベント開催中、道路側はロープで立ち入りを制限してるんですが、牧草地側は完全に出入り自由なので興味を持ったお客さんが入ってきます。最近結構マナーが良くて、立ち入る際には駐車場スタッフに一声掛けて下さる人が多いですし、クルマに触ったりする人は今年は皆無だったんですが、それでもやはりオープンというクルマの性格上、クルマから離れる時はくれぐれも貴重品は残さないで下さいね。

...ということで駐車場係からのお願いでした(笑)。

(駐車場担当: わだ)

駐車場係のいわいです。

2004 清里ミーティングへの参加、ありがとうございます

ました。

今年は天気もよくまさに「ロードスター日和」でありました。

初代から最新まで、色とりどりのロードスターが並び姿は天気と相まって壮観でありました。

そのためか観光客のギャラリーも多く、質問などを受けまして改めて今でも老若男女多くの人の目を引く車でもあることを感じました。

.....やっぱり、オープン欲しいなあ。

(駐車場担当: いわい)

『駐車場係の密かな愉しみ』

新米駐車場係の関口です。きっと他のスタッフも書くでしょうし、何より来て頂いた方々は経験済みと思いますが、今年はほんとうに快晴で暖かく、ハヶ岳連邦の山壁がひとつひとつくっきりと見えて、見晴らしは最高でした。清里という素晴らしい場所でミーティングが開催できることを、あらためて感謝した次第です。

さて、駐車場係は、イベント開催中ずっとグラウンドにいるので、会場で何が起きているかはわからない(例えそこでマスコミでは聞けないようなマル秘の情報が話されたとしても・・・)というデメリットもあるのですが、新米として「これはメリットだぞ!」と気づいたことが二点あります。駐車場係の密かな愉しみとでも言いましょうか。

ひとつは、参加者の皆さんが手塩に掛けて育てた(?)ロードスターをじっくり拝めること。何時間居ても飽きないですね。見慣れた常連さんのクルマも少

しづつモディファイされていたり、自分の車の参考になる点が多いです。あらためて、NA 初期型けるっぴ号に、もう少し愛情を注いでやろう、という決意を新たにしました。



もうひとつは、「ありがとうございました！」と言って皆さんを送り出せること。いやぁ、あんなに気持ちいいもんだとは思いませんでした（初体験の昨年は土砂降りで楽しむ余裕がなかったのです）。改めまして、「ありがとうございました！来年またお会いしましょう！」

(駐車場担当: 関口 憲義)

あー、いい天気でよかったねー！
それに、このあったかいこと！
コートなんかいらないじゃん？
何だろね、11月と思えないよね。
でも、この気温なら、オープンにするの楽だね。

そろそろ参加者の皆さんが来るころだね。
お、来た来た。ほら、みんなニコニコしちゃって・・・。
そりゃこんだけ天気良くてあったかけりゃニコニコもしますって。
寒いと自然に眉間にしわよっちゃうもんね、耳の裏

【大王様(の入れものな人?)よりひとこと】

じゃんけん。なぜ、「清里ミーティングといえば」とか「恒例の」なんてことになってしまったのでしょうか？ワタシにはわかりません。いつも「さあお待ちしました！」とかなんとか司会に呼ばれて、これ以上ないほど緊張しながら皆さんの前に立ち、ぐっとマイクを握りしめたその瞬間・・・

・・・ステージ横でぐったりと疲れている自分に気がつくからです。「さすが大王！」なんて言われてもさっぱり実感がありません。そうです、ワタシはただの受け皿。この清里の午後にしか降りてこない、パワーと負けん気溢れる「じゃんけん大王」のウツワにすぎないのです。

どうか他の人に降りて下さいと、心から祈っているのに、なぜかいつもジャンケンの神はワタシの上にやってきます。そんなわけですから、「ついに勝った！」とお喜びのY市のOさん！勝ち逃げはワタシが許してもきっと大王が許しませんよ。

とか首筋とかスースーしちゃってさ。

おー、彼女と二人で楽しそう、良かったね、つらい天気じゃなくて。

でもさ、女の子が助手席で「ちょっと寒くてつらいんだけど、彼氏が好きな車だからわたし、我慢する！」って感じなのも、まーたいーんだよねー。

そー思わねー？

(駐車場担当: たかはし)

駐車場係のまえだです。清里ミーティングご参加ありがとうございました。今年はとても暖かく過ごしやすいかったですね。

今回駐車場係を担当して感じたことは、皆さんロードスターのある生活を楽しんでるなぁということです。NAの人、NBの人、ノーマルの人、自分好みに仕上げてる人、それぞれピカピカ磨き上げてとても輝いてました。

ミーティング終了後もそこらじゅうに人の輪ができ、話がはずんでましたね。実際のイベントは5時間程度ですが、そういった人の輪がいつまでも続く事こそが私たちの願いです。また来年も清里でお会いしましょう。

(駐車場担当: まえだ)



さらに参加した方から事務局宛に早速メールをいただきました。
掲載のお許しをいただいた2通をここに紹介させていただきます。

【3年後】

清里ミーティング、お疲れ様でした。
角山様を始め、会長や虎太郎くん（実は、彼女のお気に入りです）、皆様のご苦勞のおかげで、とても楽しい一日となりました。ありがとうございました。

そして来年も、よろしく願い致します。
と、言いたいところなんですが、事情がありまして、2年ほどお休みさせていただきます。
来年の7月より、青年海外協力隊員として、アフリカのタンザニアへ2年赴任してまいります。
現地では、職業訓練学校のコンピュータの先生をしてまいります。
そのため、2年は参加できないのです。

でも、きっとまた清里にお邪魔します。
きっと2年後（今から考えると実質3年ですね）でも、今までと変わらず、ERFCの皆様の、そして参加者の皆様の笑顔があることでしょう。
その笑顔に会うために、また清里に帰ってこよう

心に誓い、寂しい気持ちを抑えながらも、遠い地で自分のやりたいことをやってみようと思いました。

ちなみに、11/26に結婚しますが、その新妻は日本に置いていきます。
親、友人、会社の上司、そして青年海外協力隊の事務局の方にも、「奥さんを置いていく、というのでホントウにいいんですか??？」と散々確認を受けました。
「ホントウにいいんです。」彼女も了解してくれています。

Roadster と Roadster が呼び集める多くの笑顔は、僕にとっての宝物です。

3年後、See You Again !!

(埼玉県:三木 千太郎)

【ロードスターの楽しみは】

こんにちは。先日、清里ミーティングに参加させていただきました、蕨崎市の森本親子です。

ミーティングの時はありがとうございました。
ピカピカで元気なNAを見てとてもうれしく思いました。

ロードスターの雑誌などを見ていると、ミーティングといえば、GTウイングや過激なロードスターの自慢大会のようなイメージがあって、少し心配していたのですが、参加されている方やロードスターもそんなことはなく、ホッとしました。

会場ではNAロードスターが開発されるまでの話しや大好きな1001の話し（私の理想のロードスターは1001です）、未来に向けてのNC（仮称）の話し、ロードスター開発に関わる人々の熱い魂の話し、私も住宅や店舗のデザインを生業としているのですが、感性やジェネレーションの違いから生じる問題をいかに、施主やビルダーさんに理解してもらおうか熱く戦っています。

一つのを形にし、造りあげ、世に出すまでに費やすエネルギーの膨大さは体験しているつもりなので、とても感動しました。

午後はたくさんのロードスターに囲まれて、お弁当を食べ、色々なロードスターを見て、息子が「お父さん、人はそれぞれだね。」と一言つぶやきました。

ミーティングでの話や息子の一言でGTウイングや過激なロードスター、人それぞれ楽しみ方はいろいろで、GTウイングもありだな。と目から鱗の思いでした。

息子も大人の集まりにも関わらず、楽しかったようで、翌日、保育園で友人に自慢していたそうです。

とても暖かく幸せな気分になれたミーティングでした。

本当にありがとうございました。

P.S.

ファミリーの方もいらした様ですが、来年は、家内も一緒に参加したいと思います。

ロードスター以外の車で参加も可能でしょうか。

私の仕事のホームページをアップしているのですが、ギャラリーの中にロードスターのページもありますので、よろしければ、見に来て下さい。

http://www.k3.dion.ne.jp/~sin_mr/

(山梨県:森本)

【ごあいさつに代えて】

おしまいにスタッフを代表して当日の進行もしていた怪鳥こと渋谷さんから一言。

参加者の皆様、そして特に森本さん

清里ミーティングにご参加頂き、ありがとうございました。

親子でおいでになられて、小さい息子さんにも「楽しかった」と思って頂けたこと。とても嬉しく思います。その息子さんの言葉、ボクは何よりもうれしいです。

たぶん、独身の私以上に、家族と一緒にこのミーティングを運営しているスタッフは、もっとうれしいのではないのでしょうか。

このクラブが、このミーティングが丸 15 年も続いてきたのは、そんな皆さん、また、今年は残念ながらおいで頂けませんでした。ロードスターというクルマを作り、またこれまで遠路はるばる来てお話を下さったマツダの皆さんのおかげです。

このクラブを皆で始めた、正確には N A V I から独立して仲間同士で運営しようと決めたとき、まさか 15 年も続くとは思っていませんでした。それも嬉しい誤算です。

今だから言えますが、その当時まだ 20 代後半だった私は「ロードスターなら、本当に“大人の”クラブができるかもしれない。できたらいいなあ」と思っていました。

それまでレース系のクラブに居て「カークラブって、これだけじゃないはずだ」と思っていたんです。高い、速い、派手。それだけが、クルマの楽しさじゃない。クルマだけを大事にするなんて、馬鹿げてる。クルマ乗るのも楽しいけれど、クルマに乗ってる人間の方がそれ以上に面白いのに。大人の余裕とは反対の、この子供っぽさは何だろう、と。

と、そんなとき、ロードスターの本物さ、モノとしての奥の深さにびっくりしました。

で、これなら「好き」なだけで繋がる、広がると思いました。

なぜなら、ロードスターは、特権的な“限られた特殊な人々”のクルマじゃないからです。

誰が乗ってもスポーツカーの世界が、それも特別な場所じゃなくて、近所のコンビニに行っても、味わえる。人と分かち合える。

それに、味もバリバリ本格です。仕事でいろいろ試乗しましたがホント本格です。これは本格的な価格破壊（今や懐かしい言葉ですが）です。

見栄を張ったり、威張る気にもならないお値段も素敵です。

日常乗るなら、超高価なスポーツカーより、楽しさは上です。

15 年間で改めて振り返って思いました。

間違いなくそのことが、ボくらスタッフを繋ぎきっかけになり、今まで楽しんでこられたのだと思っています。今後とも、楽しんでいきたいし、もっと楽しんで頂ければと思っています。

息子さんが大人になっても、続けられたらいいんですが。

某スタッフの息子さんとかが運営してたりして。

その時は、森本さんの息子さんも参加して、いや運営側にご参加してくれると嬉しいです。

その頃、私は渾名でなく、ご隠居、爺と化していることでしょう。

(怪鳥:しづや)

追伸 そうそう、クルマはロードスターじゃなくて、もちろんかまいません。何しろ、スタッフの半分ぐらいは、今は別のクルマに乗ってます。ボクもここ数年、ロードスターでは行ってないんです。

【編集後記】

そんなわけでどうにか無事に清里ミーティング報告号を終了することができました。今年で 15 回。クラブ自体も今年をひとつの節目として運営体制を見直したりもしています。今年の清里はいろいろ思わぬ事態もありましたが、おかげで清里ミーティングがいろんな人(含むスタッフ)に支えられていることに改めて気付かされたりしたのも事実です。人のつながりってそれ自体が大きな財産だな、ってことを・・・なんて思いつつ、当日はいろんなことはいっぱいいっぱい私自身は皆さんと落ち着いて話をする余裕もなく一日が終わったりしてるんですがね。(^^;)

ところで 15 周年を迎えたわがろどすたは清里前に車検のついでに板金と全塗装をして次の 15 年に向かい(?)リニューアルしちゃうました。今回、デルタのデモカーとしておいてあった N A がそれです。15 年分の傷を治し輝きを取り戻したろどすたに、つい車を降りた時に眺めたりして、、、やっぱりキレイなほうがいいよなあ、って。(笑)

さて、この号の発送日には E R F C の総会を行い来年へ向かっての活動が始まります。少し早いです。来年もどうぞよろしくお祈りします

(まめぞう)



E.R.F.C. Newsletter

2004 Vol.3

2004 年 12 月 5 日発行

発行：EUNOS ROADSTER FAN CLUB

E-MAIL：erfc@dec.sakura.ne.jp

URL：http://dec.sakura.ne.jp/~erfc/